

## はじめに

私は、2020年9月1日から2021年8月31日まで一年間、フィンランドのオウル大学（理学部）において客員教授として在外研究を行った。以下のとおり報告する。

### 1. オウルについて

オウル（Oulu）は北フィンランド最大の都市で、首都ヘルシンキから600キロ北上したボスニア湾沿いの北極圏直下に位置する。ITC産業が盛んで、北欧のシリコンバレーともいわれる。オウル大学とオウル応用大学の2つの大学が立地し、学生数が約2万人ということもあり、当該行政区域の平均年齢は38歳とヨーロッパで一番若いまちの一つとなっている。夏は白夜となり、白夜が終わると8月末頃からはオーロラが観測できる。歩行者・自転車専用道路が700キロにわたり整備されており、人々はマイナス20度を下回ることが多い冬もチェーンを巻いて自転車に乗っている。エアギター世界選手権の開催地としても知られている。

### 2. オウル大学について

オウル大学は1958年に設立されたフィンランド北部で最大の大学であり、世界で最も北（北緯約65度）に位置する総合大学である。13,000名の学生と2,900名のスタッフを抱えている。8つの学部をもち、メインキャンパスは市街地から5キロほどのリンナンマー地区で、そのほかにコンティンカンガス地区にもキャンパスをもつほか、国立公園のオウランカやラップランドのソダンキュラなどに研究施設を有している。フィンランドを代表する大学であり、世界のすぐれた大学トップ400にランクしている。

### 3. 研究状況について

私はJarkko Saarinen 教授率いるオウル大学理学部地理学ユニット所属の客員教授として研究を行った。新型コロナウイルス（以下Covid-19）の影響で、大学の授業や会議などは基本的にはオンラインで行われており、スタッフは大学内にいることが少なく、対面でコミュニケーションをとる機会が極めて限られた。一方でビジネスオウルへのヒアリングを通じ、11月にはオウル市の観光担当部署であるビジットオウル主催のFam tripに参加し、教育観光や産業観光に関する多くの情報を収集する機会を得た。また、フィンランド国営放送YLE、およびフィンランド天然資源研究所(Luke)スタッフへのヒアリングにより、フィンランドにおけるツーリズムの現状について多くの示唆を受けた。12月から3月にかけて、フィンランドにおいてもCovid-19の蔓延のため、オウルでも様々な場面での活動自粛が求められ、計画通りに進まないことが多々あったが、世界遺産地域や国立公園などへの訪問制限、国内の移動制限はなかったため、できる限り現地視察を行った。また、オウル大学内の

FABLAB Oulu と連携し、環境教育にかかるワークショップを実施した。

今回の在外研究には小学生の娘を同行していたが、フィンランドの現地校の移民クラスへ編入したため、学校の現状や地域との関わりなど、通常の視察では見えてこないリアルな教育現場の状況を知り得たことは大きな収穫となった。

#### 4. 研究成果

##### (1) 論文

- ・「オウル及びオウル周辺地域における観光戦略」駿河台大学論叢 第 62 号に投稿準備中
- ・「フィンランドにおける STEAM 教育—FabLab Oulu での実践—」投稿準備中

##### (2) 学会・研究会報告

2020/11/26 : Eco-tourism in Japan — Case study of Hanno, Saitama — (The Geographical Society of Northern Finland Nordia Evening 2020)

2020/12/12: フィンランドで考える森とか環境とか教育とか (清里ミーティング 2020)

##### (3) ワークショップ

2021/6/14 : FABLAB Oulu と連携した環境教育のワークショップ実施

##### (4) エッセイ

- ・「フィンランドから」日本パナマ友好協会会報第 30 号、22—23 頁
- ・「北欧こらぼ」駿河台大学 NEWS 225 号、227 号、229 号
- ・「Terve 通信—ヒライ先生のフィンランド通信」スポーツ科学部 HP その 1～9

##### (5) 主たる視察先

###### 世界遺産

- ・ OLD RAUMA
- ・ PETÄJÄVESI OLD CHURCH
- ・ VERLA GROUNDWOOD AND BOARD

###### MILL

- ・ SAMMALLAHDENMÄKI BRONZE
- AGE BURIAL SITE
- ・ STRUVE GEODETIC ARC
- ・ KVARKEN ARCHIPELAGO

###### ジオパーク

- ・ Rokua UNESCO Global Geopark
- ・ Saimaa UNESCO Global Geopark

###### 国立公園

- ・ Urho Kekkonen National Park
- ・ Koli National Park
- ・ Oulanka National Park
- ・ Hossa National Park
- ・ Pallas-Yllästunturi National Park
- ・ Riisitunturi National Park
- ・ Rokua National Park
- ・ Kurjenrahka National Park

- Bothnian Bay National Park
- Syöte National Park

#### 自然保護地区

- Liminka Bay
- Letonniemi nature preserve site
- Saana

#### 学校

- Ojanperän koulu
- Merenojan koulu  
(Merenojan Elementary & Highschool)
- Muhos Upper Secondary School
- Rajakylän koulu

#### 教育事業者

- FABLAB
- OSAO Edu Ltd.
- Youth center Pikku Syöte
- Lovi

#### 観光事業者

- Go Arctic
- Saaga Travel
- LAKEUS OUTDOORS
- Visit Kalajoki
- Kalajoki Booking Center (DMC)
- Tapion Tupa
- Atteson fishing
- Nallikari Holiday village
- Saimaan erapalvelu oravi oy
- LakelandGTE Outdoor company
- Arola farm and wilderness holidays
- Wild Brown Bear centre
- Taito shop

#### 観光施設

- Rovaniemi Santa Park
- The Three Nations' Border Point
- Turku Castle
- Moomin World
- Moomin Museum
- The fortress of Bomarsund
- Kastelholm Castle
- Sauna world
- Montan Lohi Oy
- KIDE Hotel by Iso-Syöte
- Rokua Health & Spa Hotel

#### 都市、地域

- Oulu
- Vaasa
- Turku
- Tempere
- Jyväskylä
- Kuusamo
- Kalajoki
- Rauma
- Raahe
- Ranua
- Rovaniemi
- Levi
- Saariselkä
- Inari
- Kemi
- Kuopio
- Puumala
- Åland Islands
- Hailuoto Island
- Helsinki

## 5. 今後の展望

フィンランドでの 1 年間の在外研究で、産学官すべての分野でコネクションが構築できたことは大きな成果であった。また、フィンランド人との関わりを通じ、その文化、すなわち、知識、信仰、芸術、道徳、食などに深く触れることができたことも、研究成果に付随する貴重な成果であった。

本学はもちろん、本学が立地する飯能市では「北欧」がキーワードとなっている。「北欧化」という言葉がメディアでは取り上げられているが、表面的な模倣だけではなく、文化的な背景を理解したうえで、その優等な部分をうまく融合させていけるようなプロジェクトや取組が必要であると考えられる。今後、フィンランドでの在外研究での経験を踏まえた活動をしていきたい。